

おがまち日奈久ニュース

令和元年12月号
(第124号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(10月末現在)
男1192人
女1442人
計2634人
(前月比+2人)
(2009年末3444人)

令和元年度 文部科学省 生涯スポーツ優良団体表彰 伝達式



町田謙二会長(右)と贈られた盾

先月号で紹介しました生涯スポーツ功労者・生涯スポーツ優良団体表彰式及び伝達式が、11月16日水俣市文化会館で開催されました。

文部科学省表彰関係は、生涯スポーツ功労者(3名)及び生涯スポーツ優良団体(4団体)、スポーツ推進委員功労者(2名)でした。(1名、1団体欠席)

生涯スポーツ優良団体の表彰を受けた日奈久校区体育協会は、町田謙二会長が出席し、今回の受賞の紹介がありました。

11月5日の命日を前に 津森小遭難の碑公園 除草作業

10月27日(日)の早朝7時から、50名を超える参加で、除草作業が行われました。

生活環境部会の泉部長の定期的な手入れもあり、伸びた草は少なかつたのですが、それでも植木の中の方や周辺の雑木が茂っていました。また、枯れ葉も散乱していました。参加者の積極的な取り組みで、約1時間で綺麗に整備されました。日奈久の皆さんの津森小遭難への想いの強さを感じました。日奈久出張所からも3名の方が参加いただき、

ようこそ日奈久へ 第10回湯の街日奈久 シニアサッカー フェスティバル2019 おもてなしに住民自治会有志・婦人会大活躍

小春日和の空の下、11月9日(土)・10日(日)に日奈久ドリームランドで開催されました。

今年も熊本、名古屋、福岡、鹿児島、宮崎など各県から14チーム約200名の参加がありました。

竹灯りて新しい年を 第11回「火流の彩」

一緒に竹灯りを作り上げましょう (主催) 湯の里日奈久振興会・日奈久住民自治会

日奈久温泉開湯600年を記念して始められた竹灯りの一大イベント「火流の彩」は、第11回を迎えます。

日時 12月31日(火)
午後8時～午前1時
※雨天中止

幽玄な竹灯りに包まれて行く年、来る年をともに過ごしましょう。



昨年の準備の様子



若々しい動きで熱戦を展開

「ありがとう」が 行き交うまち 日奈久 身近な人に「ありがとう」愛する日奈久に「ありがとう」訪れる人に「ありがとう」

今年の最高齢は、熊本オールドキッカーズの中村忠士さん83歳でした。皆さん、日頃から鍛えておられるだけあって、若々しい動きでした。時折笑いもありながら、楽しんでおられるのが印象的でした。

初日の9日夜は歓迎レセプションがイベント広場で開催され、日奈久住民自治会の竹灯りが月明かりとともに、会場を盛り上げ、ビールが不足するほどに盛り上がりました。

婦人会の皆さんは、前日の食材



豚汁に「今年もこれを楽しみに来ました」

の切り込みから、10日のご飯と豚汁の調理まで大活躍でした。大会関係者の方、婦人会や住民自治会の方々本場にお疲れ様でした。

婦人会 白濱ケミ(塩北町) 前日に豚汁の食材は下ごしらえして、10日の朝7時からコミセンで調理しました。ご飯は4升ずつ大釜で炊きます。

ご飯と豚汁200食分をシー・湯・遊まで運び、少しでも温かいものをとトラックの上に置いたガス台で温めました。

選手の方達は、「豚汁、ねぎ・こしょうたっぷり、ご飯要らない」とか、言われますが、「ご飯は新米でおいしいですよ」と言い、食べて頂きました。ユーモアのあ

「日奈久温泉案内」(冊子) を寄贈(塩南町 山口記代様)

大正14年3月発行の冊子で、日奈久温泉の由来や当時の様子などが、写真を交えて詳しく紹介されています。

山口記代様のご厚意により寄贈いただきました。「コミセン事務局で貸し出しますので、お申し出ください。



早朝にもかかわらず、大勢の参加で実施されました。

ともに汗を流しました。地域行事への積極的な参加に感謝いたします。

いにしえより甦る日奈久 県内装飾古墳一斉公開



家族連れで見学

今回の公開においては、見学に来られた人たちが心地よく見学できるように、地元住民(田の川内地区)による清掃活動が行われました。市の担当者は、「今後も公開するので、多くの市民の皆さんにも是非見学していただきたい」と話しました。

12月の行事から

- 31日(火) 第11回火流の彩
 - 令和2年1月元旦(水) 町内対抗駅伝大会(予定)
 - 1月11日(土) どんと焼き(雨天13日)
- 住民自治会関係会議等 —
- 13日(金) 市政協力員例会
 - 16日(月) 運営委員会
 - 18日(水) 広報部会

情報をお寄せください

「温泉成分の影響を受けた野菜、果物」

熊本高専 八代キャンパス

熊本高専八代キャンパス「地域協働プロジェクトセンター」から、日奈久の皆様へ、次のようなおたずねがありました。

本プロジェクトセンターでは、日奈久で、温泉の成分や熱の影響を受けた植物や果物がなにかを調査します。

これは、熊本産食品の有効成分についての研究の一環で、その成分を研究して、同センターが温泉成分の有効活用を提案したいと考えています。

温泉を利用して野菜や果物を栽培されている方、温泉の影響があるのではないかと考えておられる方など、わずかな情報でもありましたらお寄せください。

るやり取りを楽しみながら接待しました。

帰られる際は、「また来年もおいしい豚汁を楽しみにしています」と言われ、「私たちもおいしい豚汁作って待っています」と乗年の約束をしています。楽しいふれあいの時間でした。

(広告欄)

「ぞれ！入れ！」和気あいあい！ 盛り上がったグラウンドゴルフ大会

予定されていた10月19日は、グラウンドコンディション不良のため、10月26日（土）に開催されました。会場の日奈久小・中学校グラウンドには、開始前から40名を超える参加者が集合しました。

開会式の後、競技に入りましたが、数日前の雨の影響で、玉がなかなか転ばないところがある一方、乾いたところは、良く転がっていき、なかなかゴールに入りません。「今年は力の加減が難しかなあ」との声も。それでも、「ぞれ入れ！」とかけ声とともに打つ参加者に声援あり、笑いあいの和やかな雰囲気が進みました。最後は、ホールインワン競争して盛り上がりました。



それいけ！良かった入ったパイ。

中山定光さん（新田町）2回、西村一夫さん（山下町）以下1回、橋本勝利さん（塩南町）、久保和孝さん（大坪町）
皆様お疲れ様でした。

あの日を忘れない！ 命の大切さを学び合う「津森と日奈久の絆」集会開催

10月28日（月）日奈久小学校では、「津森と日奈久の絆」集会が実施されました。これは、1949年11月5日に起こった、津森小学校の修学旅行の悲しい遊覧船の転覆事故のことを知り、命の大切さについて考えることを目的として行われました。



当時のことを語る佐藤さん

あれから70年、当時の6年生だった佐藤澄代さん、猪飼澄代さん、坂田弘之さんの3人が、はるばるお出でいただきました。

まず、佐藤澄代さんが、当時のことを語られました。とても修学旅行を楽しみにしてきたこと、大喜びで舟に乗り込んだこと、海に投げ出されたこと、今でも亡くなった友達のことを思い出すこと、日奈久の方々が必死に自分たちを助けてくださったこと等をやさしく語られました。そして最後に、「皆さん、どんな苦しいときでも、どんな大変なことに出会っても、自分の命は自分で守るということをしっかり心に焼き付けておいてください。日奈久は、私の大切な大切なふるさとです」と子どもたちに語りかけられました。

テーマはSINKA（進化・深化・真価） 一人ひとりが輝いた日奈久中文化祭

11月10日（日）会場の体育館には保護者、地域住民、卒業生など約200人が詰めかけました。オープニングに続いて開会式で有働一靖実行委員長（生徒会長）が文化祭のテーマに沿って、「積極的に行動し、文化祭の自分を越えることができたら、今日は見ていただく」と挨拶。

全校生徒の俳句、英語朗読、環境・職場体験・福祉体験など各学年の総合学習、混声四部合唱「地上の星」などの発表が行われました。また、熊本県の事業で台湾で研修・交流をした谷川大河さんの報告（前号で紹介）もありました。



ミュージカルのラストシーン

メインイベントのミュージカルは「コーラスライン」。人種差別や生い立ちなどつらい経験を乗り越えていく作品で、人権教育に通じる深い内容を歌・ダンスを通して見事に演じ、「中学生とは思えないすばらしい演技」（保護者）でした。



祭壇の前で舞う巫女の田中さん

温泉神社が現在地に建立されて600年に当たる今年、銅板屋根が葺き替えられた拝殿に見守られながら実施されました。

厳かに、賑やかに 鎮座六百年記念 温泉神社例大祭

今回は住民自治会の音響装置を利用し、明瞭で迫力ある音響効果も上げていました。

70年目を迎えたあの日を忘れない！ 犠牲になられた同級生を偲んで来訪

11月6日（水）に当時の6年生だった方が8名、日奈久を訪られました。既に82歳と高齢ながらも、あの日のことを今でも忘れず、津森小遭難の碑公園を訪れて、花を手向けられました。



一緒に「日奈久沖 哀歌」を歌いました

日奈久からは住民自治会より3名と日奈久スプリングコールのメンバーの方が5名でお迎えしました。お参りの後、この遭難事故を悼んで作られた「日奈久沖 哀歌」（作詞、嶋田儀三郎氏、川原徳忍氏合作）を一緒に歌いました。「歌詞も素晴らしいと感動しました。涙が出ました」と皆さん感激しておられました。

その後、歩いて鳩山の遭難慰霊の碑まで行きました。青い空に穏やかな海が見えました。「あの辺りだったのですね。造船所の方が、舟を作るための板を流して下さって、それに捕まって助かりました」と当時を思い起こされました。全員で手を合わせ、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

なお、津森小遭難の碑公園には、津森小学校5年生一同のリボンが付いた花束も、手向けされていました。



西村さんとアサギマダラ

街角スナップ



「こっちへ投げてー」餅投げは大盛況

秀岳館「雅太鼓」。「妙見祭り」など数曲を迫力満点の演奏をし、大喝采を浴びました。

(広告欄)